

大島教会と中高生合宿

主任司祭 高木 健次

今年の8月は、中高生の合宿に同行して伊豆大島にある大島教会に行ってきました。大島教会にはまだ神学生だった時に東京教区の神学生合宿で行った以来で、実に20年ぶりということになりました。それにもかかわらず、教会、司祭館、かなり広い庭は教会の方が手入れされ、古いながらも20年前と変わらず整えられていたことに驚きました。ところで、20年前の神学生合宿の時には、神学生も10人以上おり（現在は1人）、大島教会にも子供たちもいました。更に言うならば、もっと前には大島教会にも主任司祭や管理のブラザーが住んでいた時もあるということなので、そういう点では時の流れを感じざるを得ません。それでも大島の地で教会を守ってこられている信徒の方たちには頭がさがる思いです。ちなみに、大島教会は信徒の方のご尽力で、今回のような教会の合宿はもちろん個人の方の宿泊利用にも対応されているということですので、ご興味があれば教区本部にお問合せください。

さて現在と未来の教会への希望である中高生合宿のお話もしたいと思います。合宿でどのよ

うなことをしたかについては、参加者の皆さんの作文が掲載されると思いますのでそちらにゆずりますが、天候に恵まれていたとは言えない状況で、リーダーの青年たちが臨機応変にその日のプログラムをつくってくれたことです。特に二日目は雨で、せっかく島に来ていたのにほぼ一日中教会ですごさなければならず、また三日目は乗船予定の船が欠航になり、かなり遅れて船を予約しなおさなければならなかったにもかかわらず、それはそれで楽しい時間を過ごし、皆無事で帰ってくることができたのは、リーダーたちの入念な下見と準備のおかげだと思っています。それから、参加した高校生が自分たちがリーダーになったらこうしよう、などと役割を自分たちも引き継ぐことを考えてくれていたり、こともうれしいことでした。彼らがその役割を担ってくれる時にはもちろん今回のリーダーたちも協力してくれるでしょう。

教会も若者の活動もささやかでも誠実に守っていけばいつか聖霊の風が吹くと信じています。教会は人ではなく神のわざなのでから。